

# 虫による人間への影響

## プロジェクトテーマについて

世界では、虫による社会問題が数多くあり、最近ではサバクトビバッタの大量発生により深刻な被害を受けました。このような件から私たちは自分たちの国が被害を受けないように害虫問題について目を向けるべきだと考え、多くの害虫問題から国への被害を減らし、身近にいる害虫から自分の身を守るために、『SDGs 11. 住み続けられるまちづくりを』に関連すると考え、このテーマを設定しました。

## 目標と計画について

私たちの活動の目標は、「虫による社会への悪影響を説明する」「身の回りの危険な虫のパンフレット作成」の2つで、これらの目標を達成するために現在、世界的に問題になっているサバクトビバッタを中心に調べ、害虫による被害がどれほど大きいか学び、また日本にいる身近な危険な虫について調べ、虫によって命や身体危険に会うことを防ぐため、害虫について知識をつけるためのパンフレットを作成することを計画しました。



## サバクトビバッタによる被害

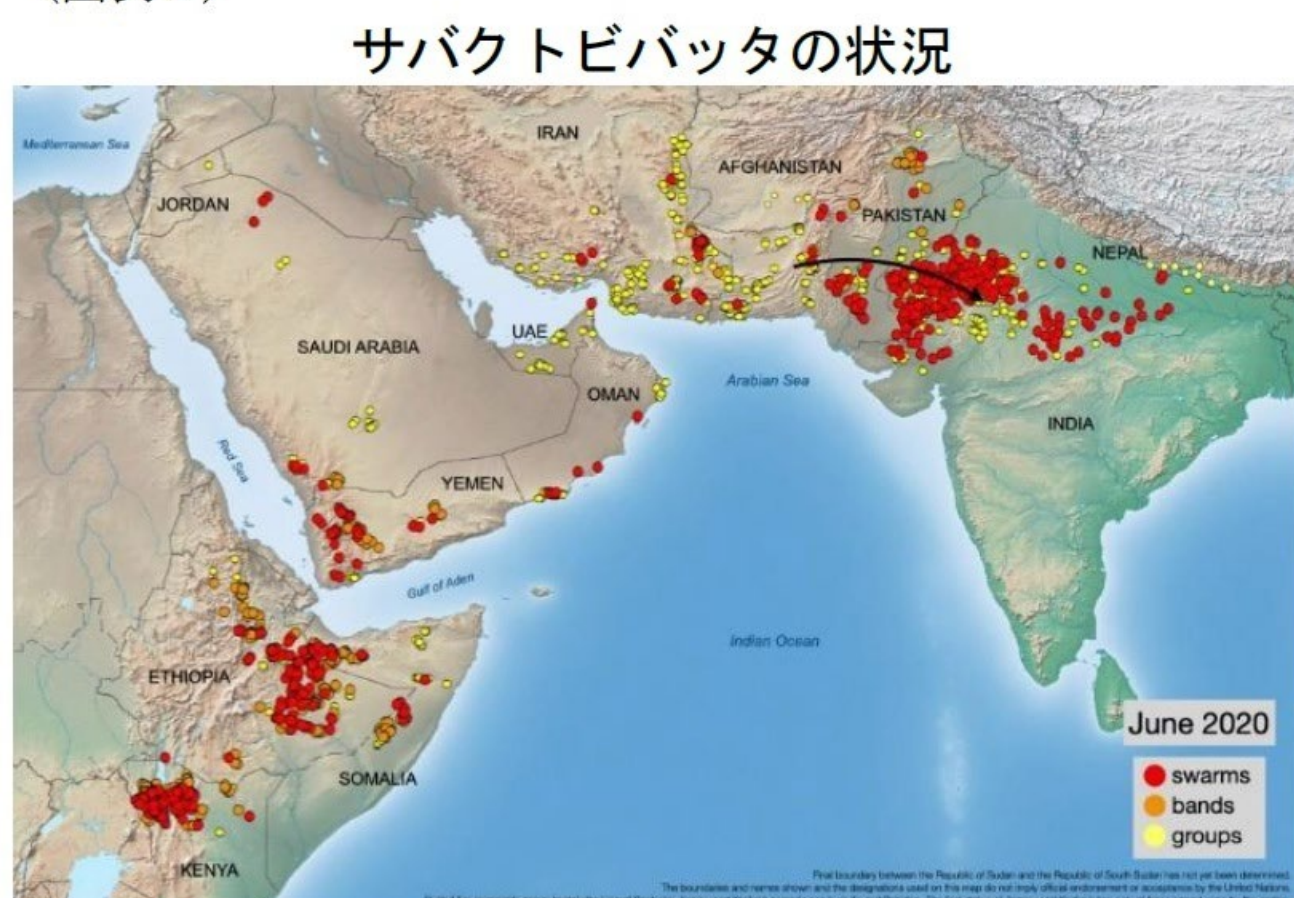
### 発生理由

干ばつの後にサイクロンによってもたらされた大雨がサバクトビバッタにとって好適な環境を生み出した。

<https://newsbyl-pctr.c.yimg.jp/r/iwiz-amd/20200307-00166447-roupeiro-000-41-view.jpg>

### 被害状況

約60か国の農業被害 陸地面積の20% 世界人口の10%  
年間被害総額は西アフリカだけでも400億円  
エチオピアでは牧草地130万ha 耕地20万穀物35万tの被害  
(図表1)



(資料) FAO Locust watch

[https://www.nli-research.co.jp/files/topics/64935\\_ext\\_25\\_0.jpg?site=nli](https://www.nli-research.co.jp/files/topics/64935_ext_25_0.jpg?site=nli)

### 対策

JPF 害虫被害緊急支援  
2020/4/1～2021/10/31  
予算 3億3000万円  
対象地 パキスタン ケニア  
南スーダン

### 日本での発生

北海道 1880～1884  
360億匹の捕獲  
関西国際空港  
1995～2007

防除と被害農家20万世帯  
に206億円を拠出  
10か国、130万ha以上の  
農地で駆除を行い、穀物27  
0万tの損失を防ぐことが  
できた。

## 身近な虫による人間への被害

### ・ヒアリ

刺されるとやけどのような激しい痛みがあり水泡上に腫れる。アメリカでは毎年約100人が刺されて死亡している。

### ・オオスズメバチ

日本最大のハチで非常に攻撃的だが巣に近づかない限り襲われることはほとんどない。冬は冬眠していて7～10月に被害が多い。毎年約17人が刺されて死亡している。

### ・蚊

人間を一番殺している生き物です。蚊に血を吸われることによっていろんな病気に感染します。

一年間に約70万人が蚊が媒介する病気によって死亡しています。

### 蚊が媒介する病気

#### 「デング熱」

高熱や激しい頭痛、関節炎、などの症状が現れる。死亡率は1%、特効薬がない

#### 「マラリア」

発熱、悪寒、筋肉痛などの症状が現れる。世界中で年間2億人を超える患者が発生している。2010年には約65万人の死者が出ている。

#### 「日本脳炎」

頭痛、発熱、吐き気、意識障害などの症状が現れる。脳に障害が残るかもしれない重い病気です。

死亡率は20%～40%

## プロジェクトの成果・まとめ

プロジェクトを通じたまとめは、害虫による被害は、主に農作物に大きな被害をもたらし、台風などの自然災害による被害総額よりもはるかに多く、被害を受けた国の人々の命が脅かされています。この蝗害は、被害を減らすことができるが、被害を0にする方法がないので、被害を最低限に抑えるために国家間の協力が大切だと考え、過去に日本でも似た例が発生したことから日本もこの問題に関心ではいけないと感じました。また、日本にも、命の危険につながる害虫が数多く生息しているので、このような害虫から自分の命を守るためには、虫に対する正しい知識を身につけ、万が一の時の対処ができるようになることが必要だと思いました。

## 今後の課題・展望

プロジェクトを通して出てきた課題は日本は害虫に対する問題に関心があまりないと感じたことです。FAOは今回の蝗害は2021年も続くと発表しましたが、日本ではこの問題に関するニュースを取り上げるメディアが少なく、最新の情報が報道されずあまりなかったため、このような世界の問題に目を向け、自国にも関係のある問題だと考えることが必要だと思いました。また、害虫の人への直接的な被害に対する問題は根本的に解決する手段がないので、自分の身を自分で守る方法を定期的にポスターや講演など知識をつける機会を作り、害虫による被害を減らすことができよう一人ひとりが努力し安心して暮らすことのできる地域を作っていくことが重要だと思いました。

## 参考文献

サバクトビバッタについて 国立研究開発法人 国際農林水産業研究 [https://www.jircas.go.jp/ja/program/program\\_b/desert-locust](https://www.jircas.go.jp/ja/program/program_b/desert-locust)

日本在来の危険生物 <https://mag.anicom-sompo.co.jp/2289>

世界一危険な虫や昆虫 <https://world-most-dangerous.bugs>